

課題名 一番茶の海外輸出を可能とする病害虫防除体系の構築と実証

米国輸出向けてん茶(一番茶、二番茶)の防除体系モデルを作成

■開発のねらい

近年、宇治茶の輸出に向けた取組が活発になっています。しかし、海外の農薬残留基準値(MRL)は日本と異なることが多く、輸出の障害となっています。そこで、ニーズの多い米国向けに、日本と同等の基準値がある農薬や、農薬以外の防除技術を組み合わせ、防除体系モデルを作成しました。

■技術の効果

- ・MRL超過リスクの低い、米国輸出向け防除体系モデルを作成(表1)
- ・農薬代替技術であるハマキコンN(フェロモン剤:松葉型、資材は茶園内均等配置)は3月下旬に設置することにより、傾斜地茶園(横畝)で有効(図1)
- ・自然仕立て園の一番茶期に加害するチャエダシヤクには農薬登録(適用拡大)で対応(図2)

■経営への効果

- ・防除体系モデルによる防除でも、慣行と同等の効果が得られ、品質への影響なし
- ・10a当たりの年間農薬代は、慣行防除体系47,520円に対し、48,919円とほぼ同等

■普及のポイント

農薬の残留は、薬剤の種類、栽培条件、加工条件などによって変化します。また、輸出相手国の残留基準値は予告なく変更されることもあるため、注意してください。なお、フェロモン剤を使用した場合は経費増になることがありますが、ハマキガ類の防除効果は高くなります。

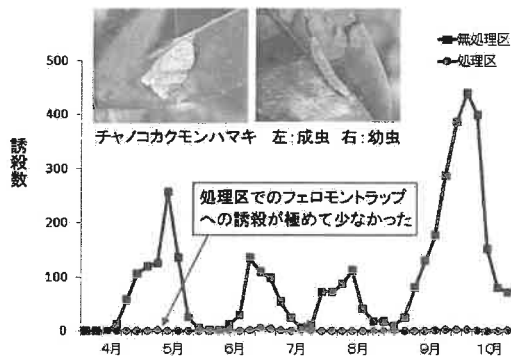


図1 傾斜地茶園におけるフェロモン剤(商品名 ハマキコンN)の効果

表1 米国輸出向けてん茶(一番茶、二番茶)栽培における防除体系モデル

防除時期	対象病害虫	輸出対応防除・資材	
2月上旬	クワシロカイガラムシ	プルートMC	
	2月中旬	赤焼病	カッパーシン水和剤
一番茶 4月上旬	コミカンアブラムシ ツマグロアオカスミカメ チャノキイロアザミウマ	スタークル顆粒水溶剤	
	カンザワハダニ	タニゲッターフロアブル	
二番茶 6月中旬	チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ チャノホソガ	ハチハチ乳剤	
	カンザワハダニ チャノナガサビダニ	ミルベノック乳剤	
	炭疽病	フロンサイドSC	
秋番茶	8月上旬	カイガラムシ類	アプロードエースフロアブル
		カンザワハダニ	バロックフロアブル
	8月中旬	炭疽病 もち病 新梢枯死症	アミスター20フロアブル
		チャノキイロアザミウマ チャノコカクモンハマキ チャハマキ	スピノエースフロアブル
	9月上旬	チャノコカクモンハマキ チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ	コテツフロアブル
	10月下旬	チャノコカクモンハマキ チャハマキ カンザワハダニ	テルスター水和剤
農薬代替技術	チャノコカクモンハマキ	ハマキコン-N	

注1: ハマキコン-Nを使用する場合は3月下旬に設置すると効果が高い(図1)

注2: チャエダシヤクが発生する園では、4月上旬に防除する(図2)

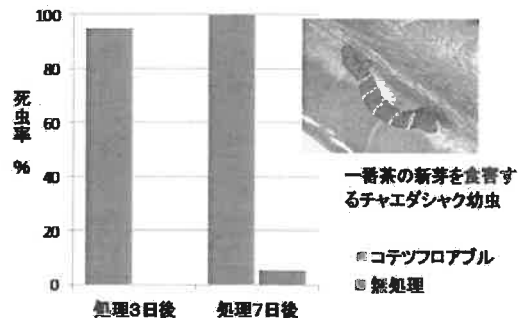


図2 チャエダシヤクに対するコテツフロアブルの効果 *効果が高く農薬登録を取得

問い合わせ先: 農林センター茶業研究所(宇治茶部) 0774-22-5577

EU輸出向けてん茶(一番茶)の防除体系を作成

■開発のねらい

近年の世界的な緑茶ブームにより、宇治茶の輸出拡大に向けた取り組みが行われています。しかし、海外の農薬残留基準値は日本と異なり、輸出の障害になっています。そこで、EUで日本と同等の基準値がある農薬や、農薬以外の防除技術を組み合わせ、EU向け茶生産指針と防除体系案を作成しました。

■技術の効果

- ・表1の農薬により、一番茶期の主要病虫害は概ね防除可能
- ・ハマキコンN®(フェロモン剤)のロープ型製剤は、6月に覆い棚に結束設置する簡単な方法でチャノココクモンハマキに対する防除効果を発揮(図1)
- ・表1の農薬と、散布後に減衰が早い農薬を組み合わせた防除体系例を作成(表2)

■経営の評価

防除体系例による防除でも、製茶品質を慣行防除と同等に保つことができます。

■普及のポイント

農薬の残留は、薬剤の種類、栽培条件などによって変化します。また、EUの残留基準値は事前連絡なく変更されることがあるため、注意してください。詳しくは農林水産省のマニュアル等を参照してください。

http://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/boujyo/export_manual.html

http://www.maff.go.jp/j/export/e_shoumei/zannou_kisei.html

表1 EU輸出向け防除体系で一番茶期の防除に使用できる農薬

対象病虫害	使用可能農薬(商品名)
赤焼病	ムッシュボルドー コサイド 3000
カンザワハダニ	バロックフロアブル
チャノキイロ	カスケード乳剤
アザミウマ	コテツフロアブル
チャノホソガ	カスケード乳剤
チャトゲコナジラミ	コテツフロアブル ダニゲッターフロアブル

農薬が分解しにくい遮光条件下(遮光率98%)で散布し、EUの分析機関で残留分析を行った。

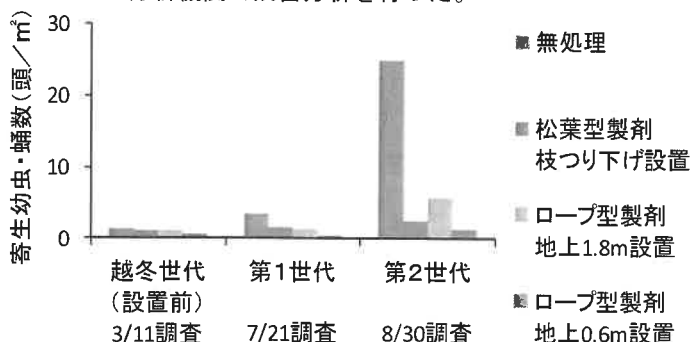


図1 トートルリア剤(商品名 ハマキコンN®)の設置方法とチャノココクモンハマキ密度

表2 EU輸出向けてん茶(一番茶)栽培における防除体系例

	吸汁性害虫	ダニ類	病害	代替農薬例
1月	ブルートMC(15)			マシン油(除外)
2月			銅水和剤(40)	
3月		ダニゲッター(50)		
4月	コテツ(50)、カスケード(15)	バロック(15)		
5月				
6月		ハマキコンN(除外)		アフーム(0.02)、ディアナSC(0.1)
7月	ウララDF(0.05)	マイトコーネ(0.05)	ダコニール1000(0.05)	アクテリック(0.05)
8月	コルト(-)	アプロードエース(0.05、0.1)	インダー(0.05)	スプラサイド(0.1)、キラップ(-)
9月	ダントツ(0.7)	ピラニカEW(0.1)	スコア(0.05)	ミルベソック(0.1)、スピノエース(0.05)
10月	テルスター(5)	サンマイル(0.05)	アミスター(0.05)	ロディー(2)、バリアード(10)
11月			フロンサイドSC(0.05)	銅水和剤(40)
12月				

カッコ内の数字はEUの残留基準値(ppm)(2016年7月15日現在)。農薬登録確認日:2016年7月15日

下線:基準値はEU<日本だが、減衰特性から基準値超過リスク低い

斜体:基準値はEUで未設定だが(一律基準0.01ppmが適用される)、減衰性が高いことから基準値超過リスク低い